



●うえだれいこプロフィール
台東区立黒門小、文京区立第六中、都立三田高、白百合女子大学国文学科卒。外資系生保を経て起業も。2007～12年江戸川区議会議員、2013年東京都議会議員初当選以来、連続当選。経済・港湾委員会理事、地域政党「自由を守る会」政務調査会長。

～ズルいことは、ゆるさない。常時改革実現中！～

〒134-0091 東京都江戸川区船堀2-11-18 tel&fax 03-3878-9032 uedareiko@gmail.com

上田令子

検索



EV充電器大手の補助金不正疑惑
若者のオーバードーズ問題

2大スクープ!!

小池知事答弁拒否もなんのその!
執念の調査と追及で都も国をも動かす

都政を動かした

社説都政
驚愕の
実態!!

スクープ 1

【独自スクープ!】公金貪りの温床・EV充電器大手
「ミライズエネチェンジ」が民事再生へ!
朝の情報番組で大特集!!
上田の都議会追及は国会・政府へ波及!



都議会で、上田がいち早く調査・追及してきたEV充電器大手「ミライズエネチェンジ社」が、本年5月に負債総額89億円を抱え民事再生手続に至り事実上の倒産となりました。同社がペーパー子会社間での転売により、仕入れ価格11万円の充電器を31万円に水増し請求していた実態をお姐が突き止め容赦なく追及すると、小池知事は痛いところを突かれ答弁逃避を決め込みましたが、揺るがぬ証拠を突きつけ、東京都からの約3億円の公金流出（不当交付）を水際で阻止! テレビ朝日『グッド!モーニング』で取り上げられました。

このお姐の一撃により、同社が過去4年間で政府から総額106億円もの補助金を不当受給していた巨大な疑惑が浮上! 追及による政界への波紋は国会や経済産業省の補助金行政へと一気に広がり、「国が規定改正・徹底調査に動く」という決定的なルール変更を引き出しました!



スクープ 2

【実力で社会を変える】オーバードーズから若者を守れ!
メンタルクリニック医師の
「医師免許取消処分」を実現!



若者のオーバードーズ問題に関して「真に危険なのは市販薬よりも、医師による処方薬の不適切な流出だ」と長年都議会で警鐘を鳴らし、東京都指定医療機関の取消処分に至ったクリニックの件も、上田は指摘し続けてきました。

都の答弁でも「薬物使用による精神疾患患者の約2割が処方薬乱用によるもの」と判明。お姐の執念の質疑と予見通り、警察の捜査や都の指定取消を経て、ついに本年7月、厚生労働省が当該医師に対し「医師免許取消」という最も重い厳罰処分を下しました!

取り組みはじめて足掛け5年…口先だけのパフォーマンスではなく、ファクトを積み重ねて行政を動かし、処分を実現する。これぞ地方議員のあるべき姿と自負しております!!



令和8年第2回定例会

一般質問一問一答集

前編

【後を絶たぬ外国人自動車盗難】
解体ヤード
不正密輸の根絶を!



上田質問 外国人犯罪グループ等による愛車の組織的窃盗が深刻化。解体ヤードに持ち込まれ密輸される現実はいまだに。警視總監の所見と対策強化を求める!

警視總監 悪質ヤードへの立入検査や関係機関・税関との連携を図り、あらゆる法令を適用して犯罪グループやその基盤の壊滅に向けた取組を推進する。



総括

筒井洋樹総監の意欲ある答弁を頂き大前進! 騒音・火災で問題の使用済み金属ヤードは規制強化が決定した。車両ヤードも可及的速やかに法改正・規制強化をされたし!

【精神病院での虐待根絶と地域移行】
実名公表と
16名の救出を!



上田質問 都が24件の虐待を認定したが病院名は非公表。実名公表こそ再発防止になる。滝山病院事件から3年、未だ入院を余儀なくされている16名の転院支援をどう進めるか!

福祉局長 虐待認定事案には立入検査や改善指導を実施。患者本人の意思を確認し、地域移行支援に取り組む病院への転院を進めている。



総括

初当選以来指摘してきた虐待問題。実名公表と残る16名の即刻転院は不可欠! 患者の尊厳を守るため、お姐はこれからも徹底追及を続ける!

【町田市女生徒監禁事件】
児相も中学校も
何をやってた!?



上田質問 通告がありながら「48時間以内の安全確認」を行わなかったルール形骸化と、不登校の中学生を救い出せなかった学校現場の重大な瑕疵を問う!

福祉局長・教育長 検証チームを設置し原因を検証するとともに全児相に徹底を周知。学校も関係機関と協力して対応する取組を行う。



総括

検証チーム設置は一步前進だが、都や区市町村という縦割り行政の弊害で、子どもが制度の狭間にこぼれ落ちる悲劇が後を絶たない。たらい回しの役人体質を改め、命を守る連携を今すぐ徹底せよ!

【一時保護所での不祥事】 不正事業者を 排除せよ！



上田質問 元職員が女子高校生への不同意性交容疑で逮捕。過去に不正請求等を繰り返してきた事業者（ワーカーズコープ）へ漫然と委託し続けた管理監督体制を問う！

福祉局長 審査委員会で総合評価して選定。事件を受け当該事業者へ権利擁護研修を実施させ、再発防止策の取組状況を確認している。



総括

最後の救いの砦である一時保護所で絶対にあってはならない不祥事だ。お姐は不適切委託を指摘し続けてきたが、過去に不正のあった事業者にはさらに厳しく対処すべし！

【障がい者雇用代行ビジネス】 働く意欲と 尊厳を守れ！



上田質問 数合わせと利益追求のために利用され、障がいのある方の尊厳や働く権利が損なわれている形式的雇用（代行ビジネス）の実態把握と対策を問う。

産業労働局長 国の研究会がいわゆる障がい者雇用ビジネスについて法の理念からの乖離を指摘し、制度的提言を行っており、今後国の審議会で検討される。



総括

働く意欲のある障がい者の尊厳を奪う実態を都は早急に把握すべきだ。小池知事が繰り返すように、国を待つのではなく「国に先駆けて」悪徳雇用の根絶に動くべし！

【地元の葛西臨海水族園】 187億円の予算爆増！ 誰が責任を取るのか！



上田質問 他より約9億円も高い事業者を落札させ、当初の公園整備費268億円の内訳書は黒塗りのまま、鳥インフル対策等に64億円追加するなど、総額約7割もの増額は到底容認できない！

建設局長 資材価格・労務費上昇で約123億円、鳥インフル対策等で約64億円の増額。事業契約書に基づき金額と工期の変更を適正に行っている。



総括

世界最大級のペンギン展示場を持つ水族園で、鳥インフル対策を怠っていたとは設計が杜撰だった証拠。予算爆上がりの責任を物価高騰のせいにして都は曖昧にするな！

独 自 調 査

もはや外遊マニア!? 小池知事の異常な海外出張

福岡県議会の出張問題が批判される中、歴代突出した都知事の海外出張実態を知って頂きたい、取りまとめました。

1図1表で見る変遷まとめ

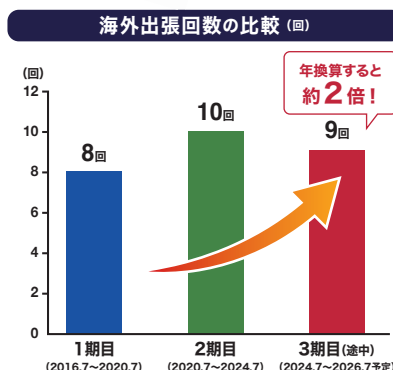
- ✓ 3期目は年換算で
1期目の約 **2.3倍** のハイペース
- ✓ 中東への出張が2期目以降 **急増**
- ✓ 総経費は既に **約2億円** (※今年7月のNY経費除く)

小池知事就任以来の海外出張総経費はすでに約2億円。3期目は年換算で1期目の約2.3倍というハイペースです。特に中東への出張が2期目以降、急増しています。

カイロ大学卒業を認めてくれたエジプトへの「お礼行脚」が、エジプト労働者合意書の締結にまで発展した——中東外遊激増の背景にあるのは明らかでしょう。都民の血税で私的な恩返しの旅を繰り返す。これが「都政のトップ」の姿でしょうか。

さらに今年7月のニューヨーク出張。全国知事会を昨年に引き続きスッポかしてまで出かけ、武蔵村山市にも都議会にも一切相談なく「ニューヨーク大学キャンパス誘致検討」の合意書を交わしてきました。候補地とされた武蔵村山市は「報道で知った」と驚きを隠せません。これでは「勝手な外交施策の強行」以外の何物でもありません。

小池百合子都知事の海外出張の変化 3期目は出張回数が約2倍に! 中東への出張も大幅に増加しています!



3期目は年換算で1期目の約2.3倍!

出張先の振り分け比較 (地域別/1回の出張は1つの地域に分類)

	欧州・北米 (欧州・北米)	アジア (アジア全域)	中東 (中東・アフリカ)	その他 (南米・オセアニア)
1期目 (2016.7~2020.7) 合計8回	3回 (37.5%)	3回 (37.5%)	0回 (0%)	2回 (25.0%)
2期目 (2020.7~2024.7) 合計10回	4回 (40.0%)	3回 (30.0%)	3回 (30.0%)	0回 (0%)
3期目 (途中) (2024.7~2026.7予定) 合計9回	5回 (55.6%)	1回 (11.1%)	3回 (33.3%)	0回 (0%)

【地域の振り分けの考え方】
1回の出張は、主な目的地の地域で1つに分類しています(重複カウントなし)
■欧州・北米: 欧州各国、アフリカ、カナダなど
■アジア: アジア全域(中国、韓国、台湾、シンガポール、タイ、インド、インドネシア、マレーシア、カザフスタンなど)
■中東: 中東諸国および北アフリカ(例: UAE、サウジアラビア、エジプトなど)
■その他: 南米・アフリカ・オセアニア(例: ブラジル、オーストラリアなど)

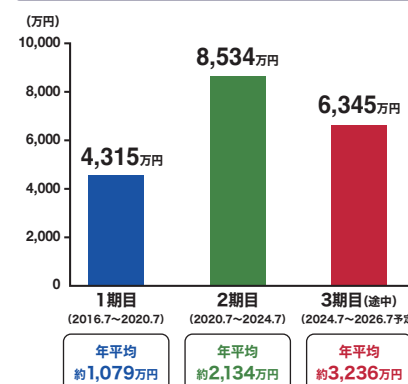
中東への出張回数が大幅に増加!
1期目 0回 → 2期目 3回 → 3期目 (途中) 3回

就任以来の海外出張 (2016年8月~2026年7月予定)

総出張回数	27回
総日数	95日
総経費 (※)	約2億円

※2026年7月のニューヨーク出張(経費未公表)を除く

総経費の比較 (※2026年7月のニューヨーク出張を除く)



任期中の海外出張総経費は **約2億円!**
(※2026年7月のニューヨーク出張は経費未公表のため含まず)

総括 全国知事会の日程に合わせて海外出張を組み、副知事に出席を委ねて自らは姿を見せない——小池知事のこの姿勢は常習化し、本年7月も例外なく、全国知事会を欠席してニューヨーク外遊を優先しました。

その直後の7月28日、熊本を再び大地震が襲いました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

小池知事は首都の長として常に災害を想定し、海外出張を優先せず全国知事会に出席して被災地知事と実際に会って邂逅を温めるべきでした。また外交は、国の専権事項です。一度取り交わされた合意形成を覆せば国際問題に発展しかねない以上、地方行政は「都市間交流」の域を出てはならないのです。

都民に不利益をもたらし、巨額の血税を浪費するような独断専行の「小池知事外交」を、今後も厳しく監視し、徹底追及して参ります🔥

